

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	地理学概論A (Introduction of Geography A)		
ナンバリングコード	E11513	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 教職科目 / 基礎レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 年 / 前期
必修・選択区分	選択・教職 教職関係科目(選択必修): 中学校教諭一種免許状(社会) ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	EK00301	クラス名	-
担当教員名	土居 晴洋		
履修上の注意、 履修条件	本授業の履修にあたり、高校在学中の「地理」履修の有無は問いませんが、自らが暮らす地域や世界各地で生起する諸事象に対して、日頃から興味・関心を持つように心がけて下さい。 正当な理由のない、遅刻・欠席・途中退席は認めません。また、座席指定は行いませんが、適切な間隔を空けて着席するとともに、授業に集中し、ディスカッション等の活動への積極的な参加を求めます。 なお、本授業科目は、中学校教諭一種免許状(社会)取得のための選択必修科目である。		
教科書	使用しない。		
参考文献及び指定図書	適宜紹介する。		
関連科目	地誌学, 地理学概論B		

○基本情報		
授業の目的	自然現象や人文社会現象を時間と空間の枠組みの中で理解することが地理学の目的であることを確認し、複雑に変化を遂げる現代社会を地理学的視点から解釈するための理論や方法論を提示します。高校までの学校教育の「地理」の影響で、暗記科目ととらえられがちな「地理」のイメージを払拭するとともに、地理学的な見方・考え方の基礎を身につけ、身近な地域からグローバルな事象までを自ら観察し、読み解くことができるようになることを目指します。これは本学のディプロマ・ポリシーに謳う「自然や文化・伝統など幅広い視野」を持ち、「時代の変化を捉える」力を養うことにつながります。	
授業の概要	地理学の概念や構成、見方・考え方、地図の読図技法など、地理学を学ぶうえで不可欠な項目を最初に学びます。本授業では人文・社会科学から自然科学にまたがって広がる地理学の領域を俯瞰的・体系的に理解できるよう、人間社会の諸現象の基盤である自然環境(地形、気候)のメカニズムを学びます。また、地理学的思考を特徴付ける事象の空間的把握を行うための地図・地形図の基礎を学びます。 その後、現代における第1次～第3次産業の諸現象の空間的特質とその形成メカニズムや背景的要因を考察していきます。また、本授業では、国内外の様々な地域で生起する個別具体的な事象の事例とすることで、マルチスケールの地理学的思考力を養成するとともに、日常生活の学問として地理学を理解します。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「ディスカッション、ディベート」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない。	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	日常的な事象を認識し、地理学的な関心を持つことができる。		10点	10点
【知識・理解】	地理学の概念や地理学の基本的な見方・考え方を習得している。	20点	5点	5点
【技能・表現・コミュニケーション】	基本的な主題図や統計資料の読解と考察を行うことができる。	20点	5点	5点
【思考・判断・創造】	地理学の見方・考え方をを用いて日常的な事象を考察することができる。	10点	5点	5点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
対面・オンラインの開講形態に関わらず、双方向授業を行うために、あらかじめ配布する資料に目を通して、授業内容への事前の理解と疑問点を明確化することを前提にします。また、授業においては、教員側から受講学生に対する質問への回答や、逆に学生側から教員側への疑問や質問が出されるか否か、ディスカッション等の活動への参加状況も評価の対象とします。 ワークシートの末尾に、授業で理解したこと、疑問・質問を記入する欄を設けますので、授業において理解できなかったポイント等を記入して下さい。ワークシート内の課題の理解状況を把握したうえで、記入された質問を加えて、次回授業において補足説明を行います。

○その他
予習を行う際に、地図や写真、図表等から何が読み取れるかをよく考えて下さい。授業においては、理解できなかったことを積極的に質問して下さい。授業後はワークシートの課題や解説を加えた教科書の図表や文章を中心に復習を行い、疑問等は提出前にワークシートに書き込んで下さい。 授業において使用したワークシートは授業後にjpegまたはpdf形式でユニパ上に提出して下さい。授業で使用したワークシートは手元に残りますので、授業後の復習や期末試験への準備として活用して下さい。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	地理学概論A (Introduction of Geography A) 土居 晴洋	授業コード	EK00301
学修内容				
1. 地理学とは何か				
地理学とはどのような学問なのかを理解することを目的とする。「地理」は中学や高校において地理(地理的分野)として学んでおり、これまで地名や産物、地形用語などを暗記する科目というイメージがあったかもしれない。しかし、大学で講ずる「地理学」をそのイメージの延長で捉えることは適切ではない。本時は、現代の地理学が人文社会科学や自然科学などの隣接諸科学と同列のサイエンスの一つの学問分野であり、系統地理学(人文地理学・自然地理学)、地誌学などの領域から構成されることについて理解する。				
予習	高校までで学んだ「地理」の楽しかったところ、苦手だったところを振り返る。		2時間	
復習	講義内容を復習するとともに、ワークシートを完成させて提出する。		2時間	
2. 地理学の構成と地誌学				
地理学の研究対象は、日々の暮らしから地域や社会にある産業や文化といった人や社会に関わる事象に加えて、気温や降水などの組合せとしての気候や扇状地や段丘といった地形の特徴などの自然現象や自然災害など、極めて多岐にわたる。また、大分県や中国などの県や国家などの地域が持つ特徴に注目する地誌学も地理学を構成する重要な領域である。地理学が持つこのような対象の多様性を知るとともに、地理学として一つの学問領域を形成している必然性や論理を理解する。				
予習	地理学の見方・考え方によって、自分の身近な地域の特徴を考える。		2時間	
復習	講義内容を復習するとともに、ワークシートを完成させて提出する。		2時間	
3. 地誌学と地域概念				
地理学の研究対象は、日々の暮らしから地域や社会にある産業や文化といった人や社会に関わる事象に加えて、気温や降水などの組合せとしての気候や扇状地、段丘といった地形の特徴などの自然現象や自然災害など、極めて多岐にわたる。また、大分県や中国などの県や国家などの地域が持つ特徴に注目する地誌学も地理学を構成する重要な領域である。地理学が持つこのような対象の多様性を知るとともに、地理学として一つの学問領域を形成している必然性や論理を理解する。				
予習	事前配布資料に眼を通し、地域概念について理解を進める。		2時間	
復習	講義内容を復習するとともに、ワークシートを完成させて提出する。		2時間	
4. 地図の種類と利用				
車のカーナビやスマホの地図アプリなど、現代社会は意識する・しないに関わらず、思いのほか多くの地図情報(地理情報)と接している。本時では最初に、そもそも地図とは何かについて考察することで、「地図＝地形図」といった認識が誤りであることや、地図が私たちの暮らしにとって、いかに有用で不可欠なものであるかを理解する。手軽に入手できるものを含めて、世の中には様々な種類の地図があること、またそれぞれの持つ特徴を理解するとともに、それらを利用する際の留意するべき点についても理解を深める。				
予習	事前配布資料に眼を通し、地図の種類について理解をするめる。		2時間	
復習	講義内容を復習するとともに、ワークシートを完成させて提出する。		2時間	
5. 地形図の読み取り				
地形図が利用価値のある身近な存在となるよう、その読み取り方法を学ぶ。高校までで地理を学ぶ際に、地形図の読み取りを苦手とする生徒は少なくない。その多くは、二次元平面に表現された情報を、自らの頭の中で立体的に再構成することに困難を感じることに由来する。本学周辺の地形図を題材にして、等高線と現実の土地の凹凸などの対応関係を確認し、地形的情報を読み取るコツを習得する。また、豊富な地図記号が地域の持つ様々な情報を与えてくれることを知る。				
予習	事前配布資料に眼を通し、地形図の読み取り方法について理解を進める。		2時間	
復習	講義内容を復習するとともに、ワークシートを完成させて提出する。		2時間	
6. 地形をつくるメカニズム				
本学が立地する大在地区や隣接する鶴崎地区は、大野川河口部に形成された三角州の上に立地する。また温泉観光地と有名な別府の市街地は典型的な扇状地の上にある。私たちの身近な地域には教科書に掲載されてもおかしくない地形が多数存在する。段丘地形などを含めて、代表的な地形について、その形態と形成メカニズムを理解する。また、身近にあるこれらの地形は単に教科書にある存在ではなく、我々はその地形的な特徴を理解し、歴史的に利用・活用しながら暮らしを成り立たせていたことを理解する。				
予習	事前配布資料に眼を通し、代表的な地形の形成メカニズムについて理解を進める。		2時間	
復習	講義内容を復習するとともに、ワークシートを完成させて提出する。		2時間	
7. 気候をつくるメカニズム				
私たちは1年が四つの季節で構成されており、それぞれの気温や降水量の組合せとして、春夏秋冬が順序よく繰り返し登場することに何の疑問も持っていない。しかし、そこにはそのような気候が生み出されるメカニズムがあり、我々の生活は自らが暮らす地域の気候に順応して営まれている。このような気候のメカニズムについて、地球規模のスケールでは大気の循環として、また身近な地域の気象については、大気の動きと地域的な地形的条件との関わりとして理解する。				
予習	事前配布資料に眼を通し、気候の形成メカニズムについて理解を進める。		2時間	
復習	講義内容を復習するとともに、ワークシートを完成させて提出する。		2時間	
8. 人口の地理学的考察				
世界の人口は21世紀半ばには100億人に達するとする予測もある。産業革命以降、世界の人口は急速に増加し、現在においては発展途上の国々を中心に依然として増加傾向が著しい。人口に関わるいくつかの基本用語を確認し、このような人口増加のメカニズムとその発展段階を理解する。また、世界的な人口やその増加の地域的特質やその背後にある人口移動などの要因を理解することを通じて、現代日本が抱える人口に関わる課題についても考察を進めたい。				
予習	事前配布資料に眼を通し、人口学の基礎的な用語について理解を進める。		2時間	
復習	講義内容を復習するとともに、ワークシートを完成させて提出する。		2時間	

○授業計画	科目名 担当教員	地理学概論A (Introduction of Geography A) 土居 晴洋	授業コード	EK00301
学修内容				
9. 農業の地理学的考察				
第一次産業は、自然の資源に直接働きかけることで、食糧や木材などの資源を得る産業である。その中でも農業は食糧資源を生産するという点で不可欠な存在であるとともに、地域の文化を形作る基礎となってきた。世界的に見れば、気候や地形などの自然環境や地域に生じた歴史などによって、その在り方には地域的差異が大きい。機械等に頼らず、地域の自然条件に強く影響される伝統的な農耕から、資本を投下することで自然条件の制約を小さくする近代的農業まで多様であることを理解する。				
予習	事前配布資料に眼を通し、農業の地域的特質について理解を進める。		2時間	
復習	講義内容を復習するとともに、ワークシートを完成させて提出する。		2時間	
10. 製造業の地理学的考察				
大分市は県庁所在都市であるが、工業都市と呼んでもよいほどに工業機能が充実している。本学が位置する大在地区は工業都市である大分市の一角を担っていると言っても過言ではない。工業は原則的には原料産地と消費地との位置関係において立地場所が決定されるが、現実的には地域や世界の歴史ばかりでなく、国家等による政策なども影響を及ぼしている。具体的な工業製品の製造プロセスや立地決定要因を考察することを通して、日本の各種工業の特色と立地における地域的な差異と共通性を理解する。				
予習	事前配布資料に眼を通し、製造業の地域的特質について理解を進める。		2時間	
復習	講義内容を復習するとともに、ワークシートを完成させて提出する。		2時間	
11. 物流の地理学的考察				
前時までの農業や工業、また後時の商業や都市のあり方と私たちの暮らしをつないでいるのが、交通や情報通信技術の発達である。人や物資、情報の空間的流動を担う陸海空の交通や情報通信技術の変化や発展は、21世紀に入ってさらに速度を増しているように感じられる。これらの変化や発展を貫く原理は、大量化・高速化・多様化にある。このような大量化・高速化・多様化がどのように進められ、その結果、地域や社会、世界がどのように変化してきたのかを考える。				
予習	事前配布資料に眼を通し、物流の地域的特質について理解を進める。		2時間	
復習	講義内容を復習するとともに、ワークシートを完成させて提出する。		2時間	
12. 小売業の地理学的考察				
我々の日常生活で購入・利用する財やサービスを提供する第3次産業について考える。特に、20世紀後半から現在にかけて、小売業の変化はめざましい。現在では当たり前となっている小売業のあり方が、いつ・なぜ・どのように変化してきたのか、また小売業を含む物流のあり方の変化が地域に対してどのような影響を与えたのかについて考える。また、身近な地域にある小売業の店舗が空間的な立地の特徴をとらえ、なぜ、そこに立地しているのかについて考える。				
予習	事前配布資料に眼を通し、小売業の地域的特質について理解を進める。		2時間	
復習	講義内容を復習するとともに、ワークシートを完成させて提出する。		2時間	
13. 都市空間の地理学的考察				
わが国の都市発展の歴史と地域的特質を概観する。都市は人口が集積することで発生するが、その集積した人口が居住するためには、住宅や上下水道などが欠かせない。そのようなインフラストラクチャーや様々な都市施設の整備は、民間部門ばかりでなく、国や地方政府による政策が後押ししている。都心部の衰退など、わが国ではその時々に取り組みまれた都市の課題に対して、どのような政策によってその解決に取り組んできたのかを跡づけたい。				
予習	事前配布資料に眼を通し、都市空間の地域的特質について理解を進める。		2時間	
復習	講義内容を踏まえて、教科書該当ページを復習するとともに、ワークシートを完成させて提出する。		2時間	
14. 歴史の地理学的考察				
学校教育の社会科を念頭に、過去を考えるのが歴史学であって、地理学は現代について考えるものと認識している人は少なくない。しかし、過去のある時間断面の地域、例えば江戸時代の大分の城下町に暮らしていた人々は、現代の大分市中心部で行動する私たちと同じ距離を感じて生活していたはずである。つまり、地理学的な見方・考え方は、過去の時間断面の地域にも適用できるのであり、そのように過去を見るのが歴史地理学である。本時はいくつかの文献を紹介しながら、過去を地理学で学ぶ楽しさを理解する。				
予習	事前配布資料に眼を通し、歴史的出来事の地域的特質について理解を進める。		2時間	
復習	講義内容を復習するとともに、ワークシートを完成させて提出する。		2時間	
15. 現代社会と地理学				
本講義を通して、地理学とは地名や産物を暗記するものなどではなく、地理学の見方・考え方を基礎として、過去を含めて、私たちが暮らす地域や社会を理解する学問分野であるとの認識が共有されたものと思われる。講義を終えるにあたり、誰もが身近なものとして関心を持っている、防災や社会的課題に関する、いくつかの研究を紹介したい。これを通じて、地理学が単なる学校教育の社会科という枠組みに留まるものではなく、現代社会における地理学が持つ応用的な側面、あるいは有用性について理解を深める。				
予習	これまでの授業内容を振り返り、現代社会を地理学から読み解くことの意義について理解を進める。		2時間	
復習	講義内容を復習するとともに、ワークシートを完成させて提出する。		2時間	
16. 期末試験				
期末試験				
予習				
復習				